

政を問う



五位塚 剛 議員

入札制度の改革は

市長／郵便・電子入札は検討中である

五位塚剛議員 本市の入札制度の改善点について検討されているものは何

末吉中学校普通教室棟改築本体工事

入札日 平成19年8月24日
予定価格 594,877,500円(消費税含)
落札価格 577,500,000円(消費税含)
落札業者 渡辺・川畑特定建設工事共同企業体

| 入札業者名 | | 入札価格 |
|-------|------------------|-------------|
| 1 | 渡辺・川畠特定建設工事共同企業体 | 550,000,000 |
| 2 | 新生・川原田 | 561,500,000 |
| 3 | 植村・鎌田 | 560,000,000 |
| 4 | 内村・村岡 | 562,000,000 |
| 5 | 久徳・有馬 | 559,000,000 |
| 6 | 前田・米満 | 561,000,000 |

問 市内業者の育成と技
札・電子入札については、6月から事
検討中である。指名業者
については、6月から事
後公表に改めている。

か。検討されているものは何

術向上のためにも、条件付き一般競争入札導入は基本であるが、入札の透明性は確保できるか。

市長 平成20年1月から条件付き一般競争入札を試行していく。建設業者の財務、経営状況、技術力などを審査し、透明性の高い入札ができると考

える。

市長 4月から末吉支所に水道課を設置し、管理部門と設計施工について水道課で対応している。財部・大隅でも対応できる体勢である。

問 新築住宅等の増加とともになって、本管から枝管に給水管接続が増えた場合どうするのか。

有線放送やオフトーカ、そしてパソコンのインターネットで公開を早急にすべきではないか。

A worker in a yellow hard hat and light-colored shirt stands on a vertical steel support structure in a deep excavation site. A green sign is visible on the right wall of the excavation.

水道管布設替工事の様子

問 議会の一般質問を

議会の一般質問を 有線放送とインター ネットで

問 曾於市の人口を増や

市営住宅活性化住宅 建設について

市長 まだ柳迫地区をす
るともしないとも決めて
いない。今後考える。

市長 曽於市のイベントや観光、福祉など14項目ある。古くても必要なものもあるが、今後見直しの必要なものもあるので、整備していく。

ネットでの公開は経費等も調査したいと思うが、議会での集約が必要ではないかと考える。

A worker in a yellow hard hat and light-colored shirt stands on a vertical steel structure, likely a formwork, next to a concrete wall. A green sign is visible in the background.

曾於市議会だより ④

自治会再編統合は

市長／推進に取り組む



漆間 純明 議昌

一般質問 6議員登壇



会、本年度財部の七村自治会の2カ所であり、現在491自治会である。

問　自治会組織の実態を3支所ごとに、自治会の平均戸数及び人数、自会长の平均年齢・平均経験年数、自治会活動の主な内容はどうか。

市長　大隅7校区141
自治会、4,539戸、
末吉13校区226自治

池田市長 漆間純明議員 編統合のその後の成果と現状は。

市長 市政説明会や広報でのお願ひ、自治会統合補助金特例を平成22年3月31日まで2年間延長する。
推進についての紙面、会合等説明だけでは

長の平均経験年数は1・8年、各自治会活動の主な内容実能は、花見、六月灯、敬老会、観音講や馬頭観、十五夜、グラウンドゴルフ、道路作業等。自治会長の決め方は、話し合い、選挙、輪番制となつてゐる。

A long, single-story wooden building with a dark roof, situated behind a chain-link fence. The building has several windows and doors. A utility pole is visible on the left, and trees are in the background.

統合した七村自治会

会、5、
948戸、
財部4校
区123自
治会、3、
608戸。
1自治会
あたりの平

なく、各支所管内を熟知したOB職員並びに社会人を交えた推進室なるものの立ち上げ、直接出向き推進していく考えはな

市長 文書により補助金制度の紹介をしており、現在自治会に出向いての活動はしていない。要請を受ければ出向いていくことになる。

徹底をお願いし、大隅中統合と同じようにメリット・デメリットを一つずつあげ、丁寧に説明する姿勢が必要ではないか。

市町村合併もそのような形で現実になつてきた。行政の組織機構だけの見直しだけで改革を終わらせてはならない。市長は自治会再編室なるものを持ち上げ、真剣に取

アンケートをとられた
ていたようだが、私はアン
ケート等の意識調査で
は進まないとと思う。市と
して自治会再編に向けた
手順（シナリオ）を明確
に打ち出し、基本的な考

公営住宅政策空屋対策団地について

問 現時点の実態、家解体の時期、それぞれ面積、今後の跡地利用考え方。

は、鳥越団地の建て替えに伴う解体であり、20年度6戸、21年度6戸22年度3戸の計15戸を解体し、13戸を新築する。



解体される平原団地

市長 組織を立ち上げて、組織を立てる方法でO.B.、匡人を入れた組織を早急に立ち上げ、推進に取り組む。

問 現時点の実態、家庭解体の時期、それぞれの面積、今後の跡地利用の考え方。

市長 政策空家及び用なしの解体を急ぐべき住宅は廃止したが、未解体住宅は

り、平成20年度4戸、21年度6戸の計10戸を解体し、13戸を新築する。
大隅支所管内は、解体すべき空き家19戸、用冷廃止済みで未解体空き家が16戸の計35戸。平成22年度から3カ年で年次の

活力ある自治体づくりを

市長／精力的に進めていく



迫 杉 雄 議員

出生者577人、死亡者1,215人のマイナス638人で合計マイナス1,056人である。

問 財部会、弥五郎会、末吉会等を利用して、本市は南の食糧供給基地であり、消費地へのトップセ

市長 ふるさと会の総会などに出会った時には、地元特産品のPRに努め、県が主催する企業誘致懇談会へは積極的に参加して企業誘致活動を実施している。その他、東京、大阪への出張の際には進出意向のある企業へ積極的に足を運んでいる。今後も都市交流アドバイザー9名の方々と地

市長 ふるさと会の総会などに出会った時には、地元特産品のPRに努め、県が主催する企業誘致懇談会へは積極的に参加して企業誘致活動を実施している。その他、東京、大阪への出張の際には進出意向のある企業へ積極的に足を運んでいる。今後も都市交流アドバイザー9名の方々と地



各地区で行われるふるさと会

市長のマニフェストの達成率について



役場通線改良工事現場

迫 杉 雄 議員 合併後、多くの施策が実施されてきたが、それらの成果をはかる人口は減っている。今後、人口の推移についてどのような所見をお持ちか。

池田市長 平成17年7月1日合併当時は44,068人であった人口も平成19年8月1日現在では、43,012人となり、1,056人の減少となっている。原因は社会動態で転入者3,233人、転出者3,641人でマイナス418人、自然動態では

元出身の方々の情報、県事務所との連携を深めながら、特産品のPRや企業誘致活動を精力的に進めしていく。

問 本市3町閲連道路と環状線の整備促進と点検はどのような状況であるか。

市長 財部、末吉を連絡する道路として、柳井谷・蓑原線、緩毛原・七村線、馬立・通山線、市之坂線、上村・光神線の改良を実施し、また大隅・末吉を結ぶ道路として笠木・柳井谷線、光神・安之尾線は完成しており、現在、椿・梶ヶ野線、笠木・かんじん松線、土成・柳井谷線の改良をしている。

次に環状線へ位置付けた道路は国道0・5km、県道50・5km、市道23・5kmの計75・5kmとなっており今後も環状線の整備促進には努力する。

市役所玄関、駐車場の整備や道路の拡張に取り組んでおり、大隅は東九州自動車道整備に伴うアクセス道路の整備や弥五郎通り線の改良が進んでいます。

問 財部は北の玄関口、末吉は中央の玄関口、そして大隅は南の玄関口としての整備と特色ある町おこしをどのように進めれるか。

市長 本年度予算で財部駅の建て替え、あわせて駅に接続する県道の整備を要請している。末吉は

・その他質問
人口減に伴い限界集落自治会消滅の恐れ

畑かん営農体系の確立を

市長／14品目で実証している



山下 諭議員

山下 諭議員 曾於市は畑地帯であり、その収益をあげる一方策として畑かんがい事業を東部地区（旧末吉町）、北部地区（旧財部町、大隅町、末吉町）の2地区で実施している。この現状はどうなっているか。

問 白菜、西瓜の中心产地である旧大隅町の南地

市長 市内には東部で1

問 畑かんの営農体系は事業の進捗率で、東部

市長 東部地区は受益面積3,130ha（うち旧末吉町1,000ha）、受益戸数4,018戸（旧末吉町1,599戸）、北部地区は2,052ha、3,914戸で、水が直接畑に入るのを東部地区平成23年度、北部地区平成29年度の計画で実施している。

畑かんの営農体系は

池田市長 東部地区は受益面積3,130ha（うち旧末吉町1,000ha）、受益戸数4,018戸（旧末吉町1,599戸）、北部地区は2,052ha、3,914戸で、水が直接畑に入るのを東部地区平成23年度、北部地区平成29年度の計画で実施している。

問 畑までの通水はすぐそこまでできている。畑かんの目的である農業収益を上げる営農体系、その推進体制は。

市長 当時同意が得られず、県単事業でも計画したができずに、現在は推進していない。曾於南部畑かんの追加事業として実施するのは不可能であるので、別な方法で検討する。



畑かん利用のスプレー菊ハウス

区は、区域外となっている。理由とその対策は。

市長 旧大隅町の南地

上等の成果が実施され計画的な定植、早期収穫、增收、商品化率の向上等の成果が実施されている。

水利用効果の高い品種として路地で11品目、施設で8品目を選定しているが、市の気象条件、農業生産状況等から南瓜、里芋、ごぼう、白菜、大根、キャベツ、茶、菊類は有望と考えている。

推進は曾於市畑地かんがい営農推進本部を設置し行っている。

団地4名で4品目、北部で4団地13名で10品目の実証圃を設置している。

市長

作園芸支場と独立行政法人である九州沖縄農業研究センターや都城畑地研究拠点（旧国立）がある。

鹿児島県の農業試験場で串良町にあつた畑作地区（ダム旧輝北町）として計画されたが、

在、ここを活用する考

はないか。

市長 大隅半島にこのよう

な施設がなくなつた

ことは不満を持つてい

る。利用する方向で検討

しお願いしていく。

市長 農家の経営を支え

る農家所得安定対策とし

て見守っているが、具

体的内容が不明で実現可能

な政策であるかを見極め

て評価したい。

問 地質、気象条件がほぼ同じである都城盆地の一隅、県境の母智丘の下に、宮崎県農業試験場畑

作園芸支場と独立行政法

人である九州沖縄農業研

究センターや都城畑地研

究拠点（旧国立）がある。

鹿児島県の農業試験

場で串良町にあつた畑作

地区（ダム旧輝北町）

として計画されたが、

在、ここを活用する考

はないか。

市長 大隅半島にこのよう

な施設がなくなつた

ことは不満を持つてい

る。利用する方向で検討

しお願いしていく。

市長 農家の経営を支え

る農家所得安定対策とし

て見守っているが、具

体的内容が不明で実現可能

な政策であるかを見極め

て評価したい。

問 7月参議院議員選挙時に現在までの経営規模拡大で我が国の農業を維持する農政に対して、民主党は「全販売農家への所得補償制度」を公約した。市長の評価は。

市長 農家の経営を支え

る農家所得安定対策とし

て見守っているが、具

体的内容が不明で実現可能

な政策であるかを見極め

て評価したい。

参議院議員選挙公約への評価は

■ 畑かん事業の概要

| 地 区 | 東 部 | | 北 部 | |
|--------------|----------------|-------|-------------|------|
| 事業申請年月日(国営) | 昭和59.10.15 | | 平成 8. 9.12 | |
| (県営) | 昭和60. 3.12 | | 平成19. 7.23 | |
| 事業採択年月日(国営) | 昭和60. 3.14 | | 平成 9. 2.18 | |
| (県営) | 昭和61. 4. 1 | | 20年度 | |
| 事業完了予定年度(国営) | 平成19. 9.30 | | 24年度 | |
| (県営) | 23年度 | | 29年度 | |
| 国営事業費 (億円) | 591.3 | | 359 | |
| | ダム | ダム以外 | ダム | ダム以外 |
| 同上負担割合%国 | 84 | 80 | 84 | 80 |
| 県 | 11.4 | 12.45 | 10 | 10 |
| 地元 | 4.6 | 7.55 | 6 | 10 |
| 県営事業費(億円) | 131 | | 107 | |
| 同上負担割合%国 | 50 | | 50 | |
| 県 | 29.75 | | 29.75 | |
| 地元 | 20.25 | | 20.25 | |
| 受益面積(ha) | 1,000(全体3,130) | | 2,052 | |
| 受益戸数(戸) | 1,599(全体4,018) | | 3,914 | |
| 実証圃数(戸、圃場数) | 末吉 4 | | 財部7、大隅3、末吉3 | |

※市長の答弁資料により作成

⑦ 曾於市議会だより

敬老祝い金の全員支給を

70歳以上は減少傾向

市長／節目支給は合併協議会で決めて頂いた



徳峰 一成 議員

れた感想を聞きたい。

市長

全員支給の意見が

半分、節目支給の意見が

半分であった。

問

この点が私と認識の

大きな違いである。第1

次分の全員支給を求める

6,350人の署名をど

きたい。

徳峰一成議員

現在と今後70歳以上の人口を聞

きたい。

池田市長

現在は1万

1,050人、平成22年

1万676人、平成27年

9,869人、平成32年

9,569人と予測して

いる。

問

今後人口が減少傾向

であり、今年の節目支給

の予算を使って1人3千

円なら、将来にわたって

全員に支給できる計算にな

る

市長

大体そのようにな

ると思う。

問

市長が市民と対談さ

う受けとめるか。

市長 節目支給は合併協議会で決めて頂いた。これを考えることはどうか

と思う。

市長が全員支給に戻すまで、今後とも署名運動を続けていきたい。

う受けとめるか。

市の四役は曾於市全体を知る努力を



敬老祝金を届ける市長

市民の気持ちにあつた市政の舵取りを行うには、市内全域に足を運び、

市民と対話を深めることができないか。市の四役は合併後この2年間自分

の出身以外の旧2カ町に

どれだけ足を運ぶ努力を

されたか。

市長 大隅、財部は百數十カ所足を運んだ。

中山副市長 財部は12

3自治会中26、大隅は141自治会中42自治会

に足を運んだ。

問

末廣副市長

末吉は22

2自治会中34、大隅は141自治会中39自治会

に足を運んだ。

植村教育長 財部は12

3自治会中23、末吉は222自治会中34自治会

に足を運んだ。

問

高良保健福祉課長 曾於

市では8,071人程度

が対象となる。見方によつては新たな負担とな

る。



大隅町各校区の地区振興大会

農業振興策の重要項目は

市長／畜産の振興と畑かん営農の推進

松田司議員 曾於市の農業生産額が平成17年度全国で第9位と高い実績が評価されたが、今後何を重点に取り組まれるかそ
の見解を求める。

池田市長 今後も特別家畜導入事業や堆肥舎建設、牛舎建設補助、スタ



松田 司議員



ボラ層が残る折田地区

市長 平成17年度策定された肉用牛生産近代化計画において計画時は28,262頭、平成27年度では31,000頭と想定され、2,738頭の増となり24,000頭以上の子牛出荷頭

問 高齢化で農家戸数は10年以内に大きく減少すると思われ、担い手育成が急務と考えられるがその対応は、認定農家戸数は。

問 高齢化と農業戸数の減少で10年後はどうなるのか。国は平成27年までに全国で現在より10万頭の増頭計画であるが、曾於地区で24,000頭の子牛販売頭数の維持は可能か。人材育成、畜舎計画、導入補助、自給飼料対策、補助対策は。

市長 農業後継者育成と新規就農者への対策として、新規就農者支援対策事業概ね40歳以下の新規

問 畜産計画、導入補助、自給飼料対策として、飼養頭数維持を拡大するため建設を推進する。導入補助は引き続き行う。

自給飼料対策として、濃厚飼料高騰により、良質粗飼料の確保は重要な課題であり、乾燥やラップサイレージ作りは地域の中核農家、グループ等で推進するよう指導していく。

市長 今後、未整備地区の圃場整備に取り組んでいく。

問 国は今回事業見直しの同意を得て工事施工中であるが、市として今後、畑かん事業を推進されるか具体策は。

市長 5月20日の旧末吉町の花房峡憩いの森ジョギング大会と旧財部町のどろんこ大会が同日開催された理由は。

市長 調整がつかず同日開催となつたが、今後、事前に連携をとり重複し

数は可能である。

人材育成については、市の農業後継者等育成事業、農業高校生、新規農業者、農業後継者の育成に努める。

畜舎計画、導入補助、自給飼料対策として飼養頭数維持を拡大するため建設を推進する。導入補助は引き続き行う。

自給飼料対策として、濃厚飼料高騰により、良質粗飼料の確保は重要な課題であり、乾燥やラップサイレージ作りは地域の中核農家、グループ等で推進するよう指導していく。

自給飼料対策として、濃厚飼料高騰により、良質粗飼料の確保は重要な課題であり、乾燥やラップサイレージ作りは地域の中核農家、グループ等で推進するよう指導していく。

市長 今後、未整備地区の圃場整備に取り組んでいく。

問 どろんこ大会に参加して感動した。曾於市の一大イベントとして広くアピールの必要があると思うか。

市長 82チーム計800人を超す参加者があり盛大に開催された。

今後、曾於市的一大イベントとして取り組んでいく。



盛り上がりをみせるどろんこ大会